

An aerial photograph of Okazaki City, Japan, showing a dense urban area with a river winding through it. In the foreground, a white silhouette of a samurai on a horse, holding a bow, is superimposed on the right side. The city is surrounded by green hills and mountains in the background.

岡崎市における公民連携について

令和5年11月8日

I

I 岡崎市について

- ・ 岡崎市について
- ・ 岡崎市における公民連携とは
- ・ 岡崎市公民連携の取組事例

II

II 岡崎市SDGs公民連携プラットフォーム

- ・ プラットフォーム仕組み・機能
- ・ 事例紹介(R4年度実績)
- ・ 令和5年度スケジュール等

I 岡崎市について

- 岡崎市について
- 岡崎市における公民連携とは
- 岡崎市公民連携の取組事例

岡崎市について



- 市域面積 : 387.2 km²
東西 29.1km、南北20.2km
市域面積の約60%が森林

- 人口 : 383,789人(2023年4月)
中核市

- 産業別就業者割合2020年(全国平均)
第1次産業 1.3 %(4.0)
第2次産業 39.1%(23.4)
第3次産業 59.6%(73.4)

- 自治会加入率 90%

- 財政力指数: 1.04 (2022年)



岡崎市における公民連携とは

岡崎市第7次総合計画

総合政策指針

基本指針

公民連携による
成長戦略の推進

コンパクトな都市構造の構築

まちへの誇りが育まれる社会づくり

周辺都市との連携の推進

都市のグランドデザイン

分野別指針

スマートでスリムな行政運営の確立

暮らしを支える都市づくり

暮らしを守る強靱な都市づくり

持続可能な循環型都市づくり

多様な主体が協働・活躍できる社会づくり

健康でいきがいをもって活躍できる社会づくり

女性と子どもがいきいきと活躍できる社会づくり

誰もが学び活躍できる社会づくり

商業と観光が成長産業となる地域経済づくり

ものづくりが柱でありつづける地域経済づくり

未来投資計画

未来投資計画

分野別の主な取組み

未来投資パッケージ

個別計画

マスタープラン

都市計画マスタープラン、土地利用基本計画、立地適正化計画
まち・ひと・しごと創生総合戦略、行政改革大綱、公共施設等総合管理計画

分野別個別計画

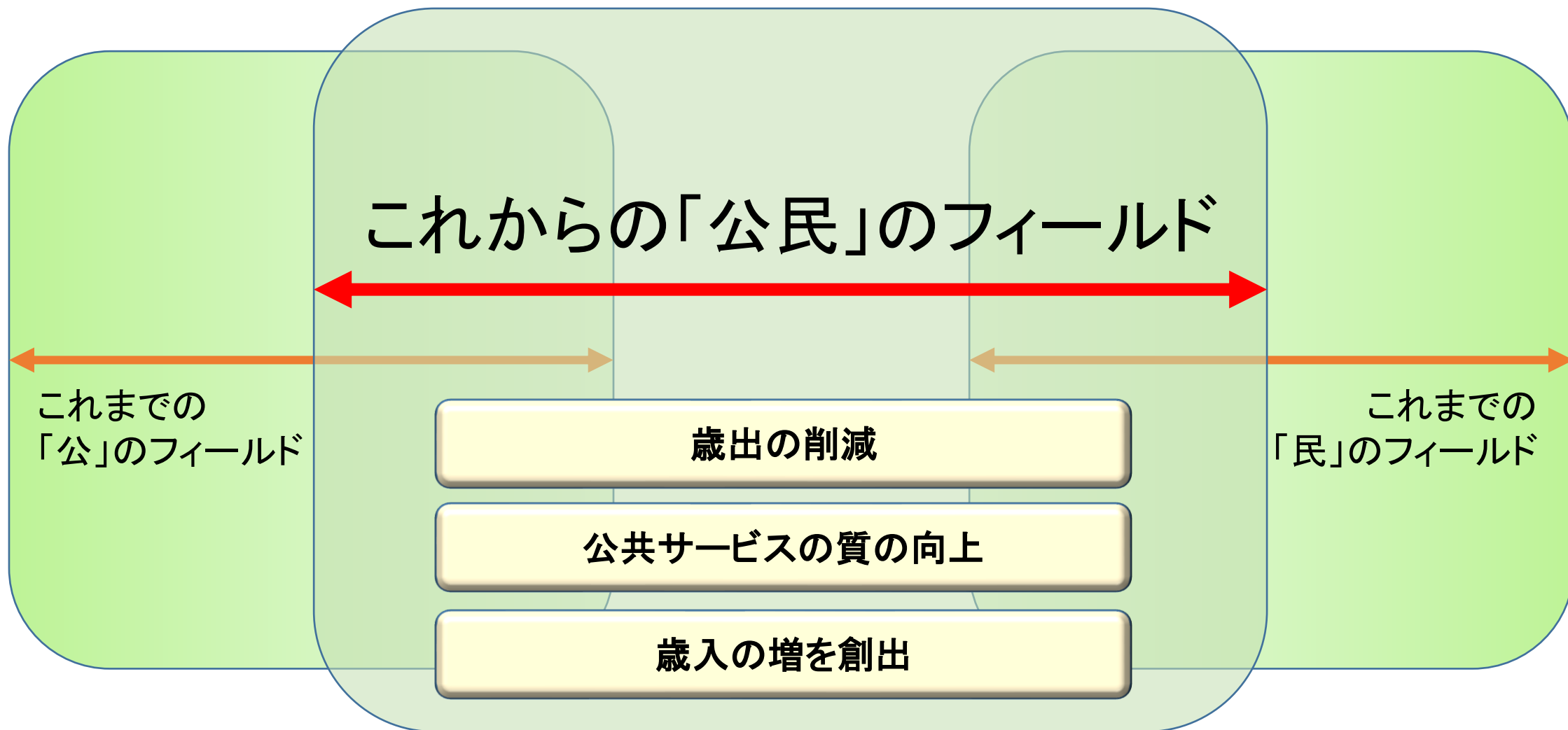
(まち) = (環境)

(ひと) = (社会)

(しごと) = (経済)

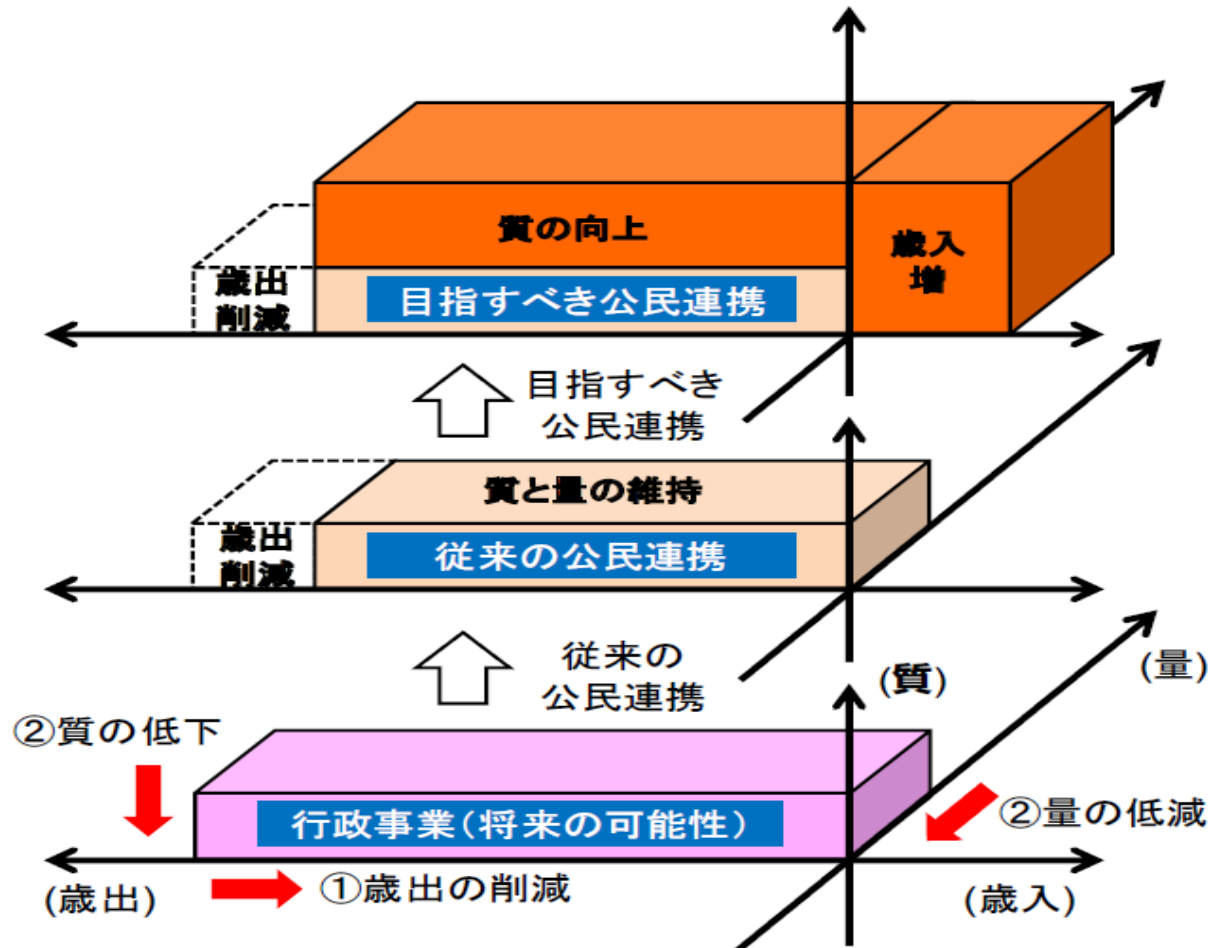
(行政運営)

岡崎市における公民連携とは



岡崎市における公民連携とは

公民連携による公共サービスの受益最大化
= エリア価値向上



※社会情勢による①「歳出の削減」により
②「質の低下」「量の低減」が懸念される。

目指すべき公民連携

単に歳出を削減し公共サービスの
の質と量を維持するだけでなく、

質の向上と歳入増を創出
するもの。

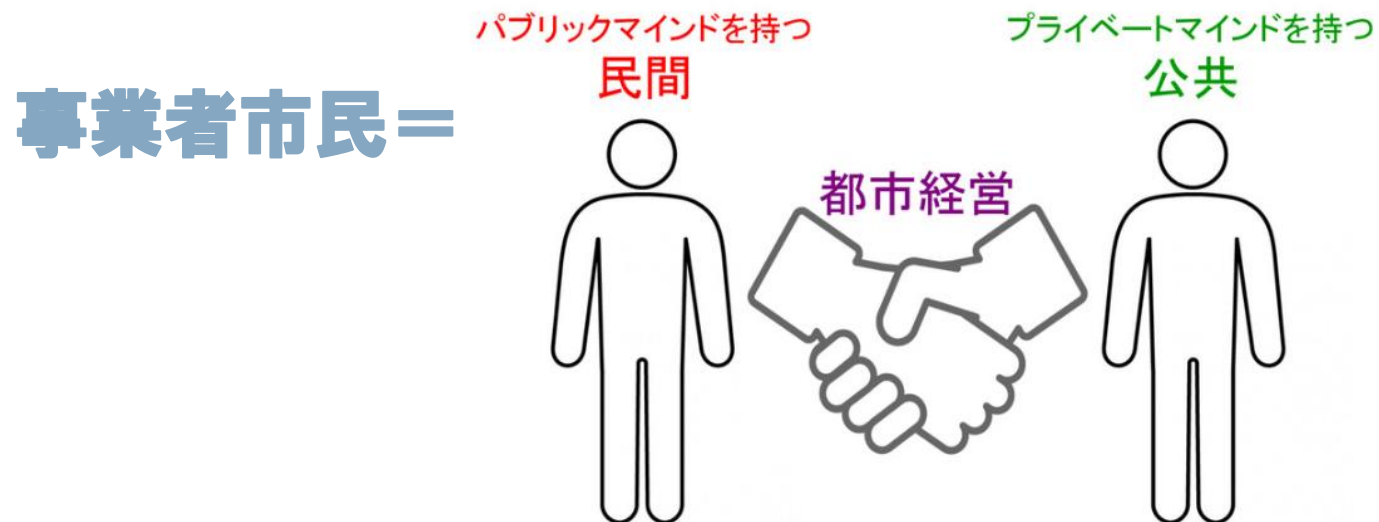


- パブリックマインドを持つ民間事業者との連携
- 市場性の開拓
- 規制緩和や関係住民との交渉

岡崎市における公民連携とは

行政のパートナー＝事業者市民

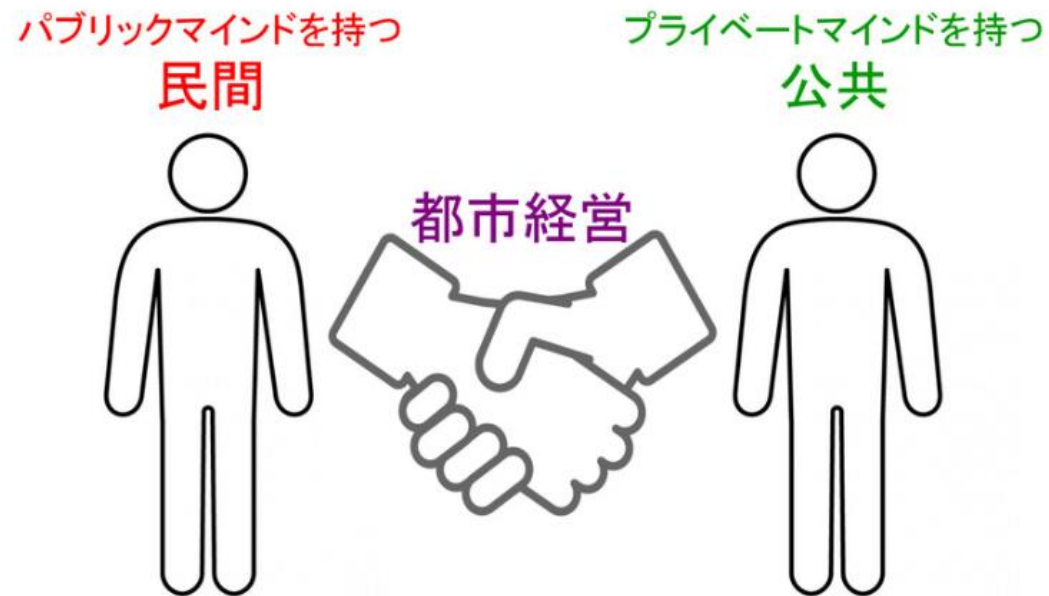
自らが責任を持って都市経営の一翼を担い、事業・産業と雇用の創出を通じて地域の稼ぎと税収等の歳入を増やす公共性・公益性及び事業性を兼ね備えた市民。



岡崎市における公民連携とは

公民連携とは

行政と民間が、志と責任・権限を持ち、役割分担をしながら連携し、地域が抱える多くの課題を解決するとともに、良質な公共サービスの提供を図る。



岡崎市公民連携の取組事例

北東街区有効活用事業(オトリバーサイドテラス(2019年開業))

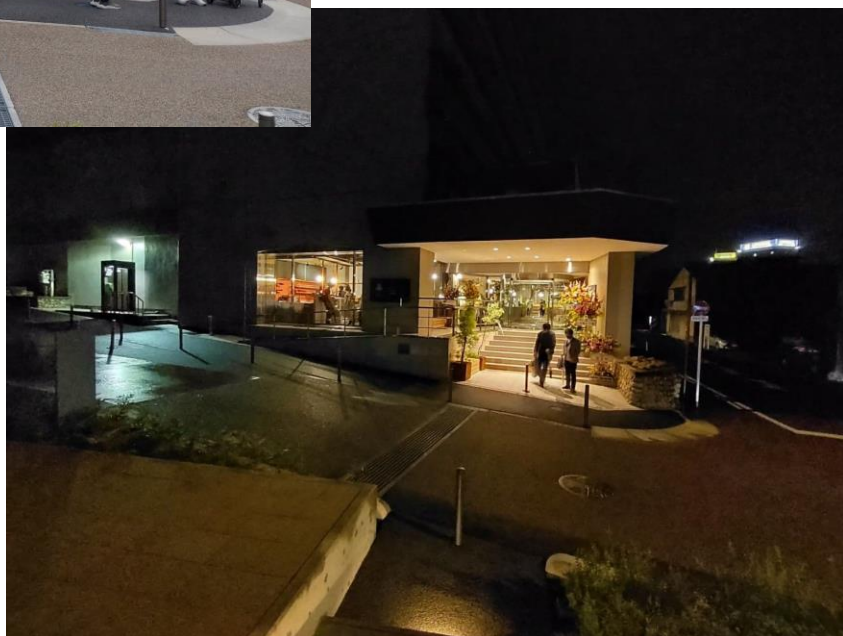


事業者の提案により、
客室110室を備える9階建てのホテル、
生鮮食品を扱う店舗等が入る南店舗棟、
公園に向けたテラスを北側に配置したレストランや
カフェが入る北店舗棟、
1階部分に駐輪場を配する駐車場棟の4棟を整備。

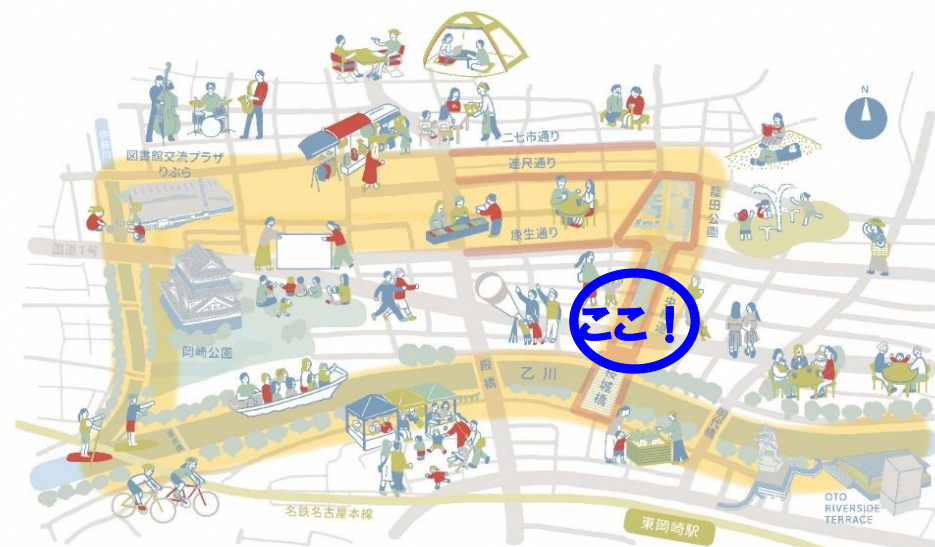


岡崎市公民連携の取組事例

NEKKO OKAZAKI（2022年供用開始）



再整備した中央緑道沿いに建つNTT岡崎ビル1Fで、民間事業者が公共の補助金を一切受けずに、新たな投資を行う事業。ベーカリーカフェやクラフトビール店、体験施設などの複合施設として2022年7月にオープン。



岡崎市公民連携の取組事例

事業名	事業期間／借地期間	事業方式
岡崎げんき館整備運営事業	2006年6月(契約)～2033年3月 (事業期間25年+建設・設計期間)	PFI事業(BTO方式)
男川浄水場更新事業	2013年2月(契約)～2033年1月 (事業期間15年+建設・設計期間)	PFI事業(BTM方式)
岡崎市火葬場整備運営事業	2014年3月(契約)～2031年5月 (事業期間15年+建設・設計期間)	PFI事業(BTO方式)
岡崎市こども発達センター等整備運営事業	2015年6月(契約)～2034年3月 (事業期間17年+建設・設計期間)	PFI事業 (BTO方式及びRO方式)
龍北総合運動場整備事業	2018年3月(契約)～2035年3月 (事業期間15年+建設・設計期間)	PFI事業 (BTO方式及びRO方式)
岡崎市立小中学校空調設備整備事業	2018年12月(契約)～2030年3月 (事業期間10年+設計・施工)	PFI事業(BTM方式)
(仮称)岡崎市西部学校給食センター整備事業	2022年6月(契約)～2039年7月 (事業時間15年+建設・設計期間)	PFI事業(BTM方式)
岡崎シビックコア地区交流拠点整備事業	2017年1月～2047年1月	事業用定期借地方式(30年)
北東街区有効活用事業	市有地:2017年6月～2067年6月 民間所有地:2017年1月～2047年1月	事業用定期借地方式(50年)
岡崎駅西口自転車等駐車場用地活用事業	2023年6月～2053年6月	事業用定期借地方式(30年)

Ⅱ 岡崎市SDGs 公民連携プラットフォーム

- プラットフォーム仕組み・機能
- 事例紹介（R4年度実績）

公民連携活用推進の5つの基本原則を踏まえて、『公民相互がつながる場』としてプラットフォームを構築しています

< 岡崎市の公民連携活用推進の5つの基本原則 >

①

持続可能で良質な市民サービスの提供

あらゆる分野（※）において公民連携を積極的かつ適正に活用し、持続可能で良質な市民サービスの提供を目指します。
※「あらゆる分野」とは、分野・領域・部門・形態・サービスなどを指し、公民連携の活用推進の懸念として、分野等を限定することなく、幅広くとらえることを原則としたものです。

②

新たな市場機会の創出（地域や経済の活性化）

公民連携の活用推進による「新たな市場機会の創出（※）」を地域や経済の活性化につなげます。
※「新たな市場機会の創出」とは、これまで行政や民間が市場として十分に認識又は活用しなかった公共サービス・公共事業・公共空間が、公民連携の活用推進によって「魅力ある新たな市場」として生まれ変わることを指します。

③

公共領域（サービス）の最適化

「公共領域（サービス）の最適化」による効率的な行政経営を推進します。

プラットフォーム構築において
特に基本原則②③が重要！！

④

民間との「対等な関係構築」と「役割分担・責任分担の明確化」

民間を行政のパートナーとして位置づけ、「対等な関係」及び「役割分担と責任分担の明確化」に配慮したうえで、民間力を最大限に引き出す取組みに努めます。

民間力を最大限に引き出すためには、事業の検討段階から公民連携を活用していくことが求められます。市場調査を目的とした「マーケットサウンディング」等を積極的に取り入れていくことも、対策の一つとなります。

⑤

多様なまちづくり主体による「価値」の共有

公民連携の活用推進により得られる「新たな価値」を、市民・来訪者・民間・行政で共有できる魅力と活力のあるまちづくりを目指します。

岡崎市SDGs 公民連携プラットフォームについて

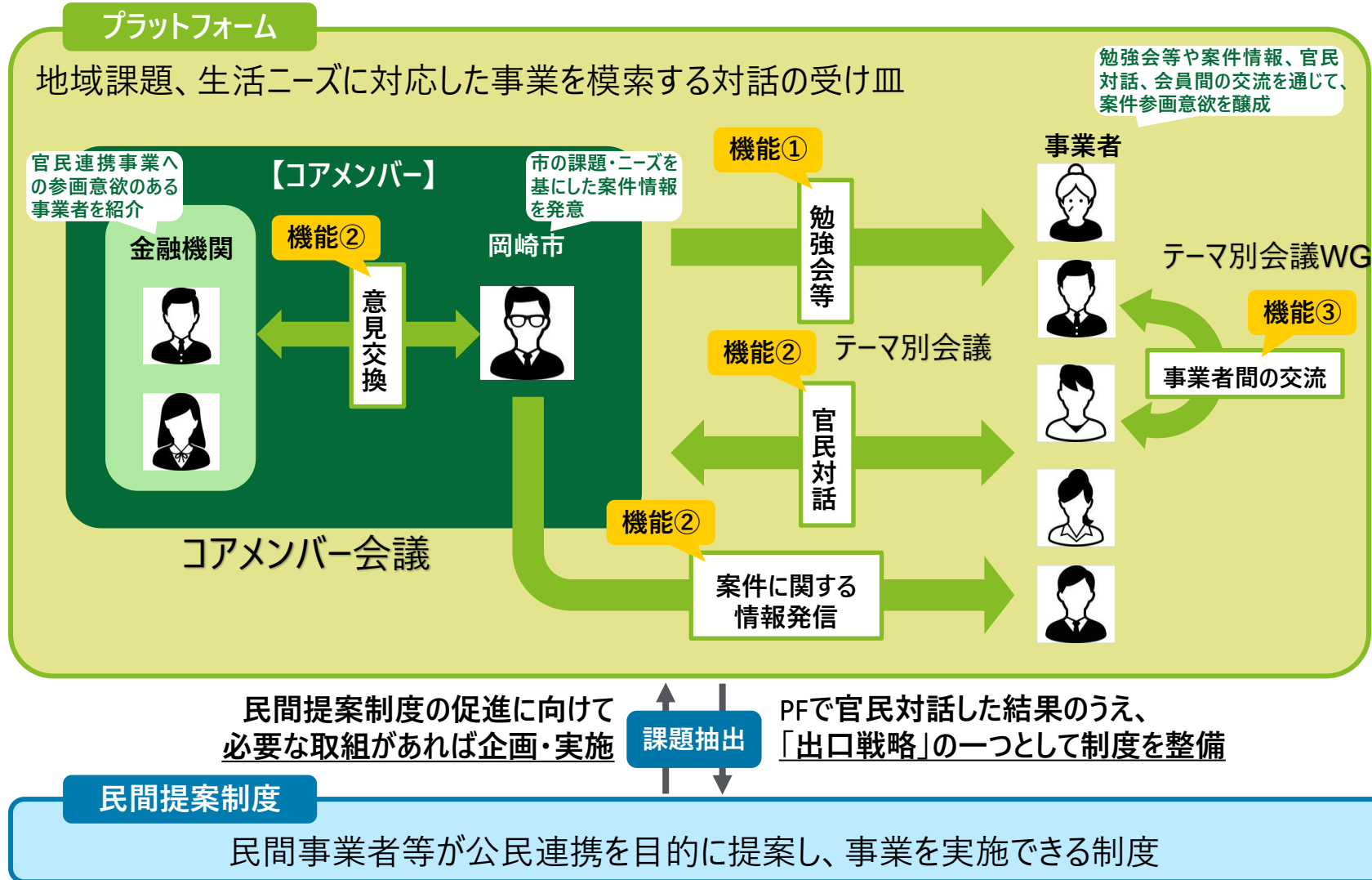
プラットフォームは、岡崎市が抱える公民連携の課題に対応すべく、普及啓発・人材育成機能、情報発信・官民対話機能、交流機能の3つの機能を持つように構築しています

プラットフォームの機能要件

官民連携に関する課題	求める機能	概要	取組み例
公民連携の担い手不足	機能① 普及啓発・ 人材育成機能	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 本プラットフォームの会員（事業者）に対して<u>具体的な案件形成が志向できるように、プログラムを介して</u>人材育成を促進 	<ul style="list-style-type: none"> ■ セミナー ■ 事例説明会 ■ 勉強会
官民対話の仕組みがない	機能② 情報発信・ 官民対話機能	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 案件に係る市場性の有無や事業アイデアの掘り下げ、民間事業者の参入意向や参入条件等について意見聴取 ✓ それにより、<u>公民連携による事業化に向けたステップへと進捗</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 検討段階の案件の情報提供 ■ 官民対話 ■ 社会実験の実施
公民連携に取り組む民間同士の交流の場がない	機能③ 交流機能	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 本プラットフォーム会員（事業者）同士の交流機会を提供、とりわけ地元企業の<u>異業種間のネットワークを構築</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 交流会 ■ 意見交換会

岡崎市SDGs 公民連携プラットフォームについて

地域課題、生活ニーズに対応した事業を模索する対話の場として、金融機関や岡崎市、市内の事業者等によるプラットフォームを形成しました



プラットフォームの場において、金融機関の皆様と対話を実施し課題の磨き上げを行います

プラットフォームの活用イメージ（テーマ型）

◇市の悩み

- ・この課題には市場性があるのか？
- ・この公共サービスには市場性があるのではないか？
- ・どうすればよりよい提案がいただけるのか？



①

対話



◇市のメリット

金融機関様との対話により

- ・市場性の有無に対するご意見
- ・市では気づかなかった課題の発掘
- ・想定事業者の検討
- ・公募要件の検討
- ・事業提案の広がり



◇金融機関様のメリット

市との対話により

- ・早期に公民連携案件情報をキャッチアップできる

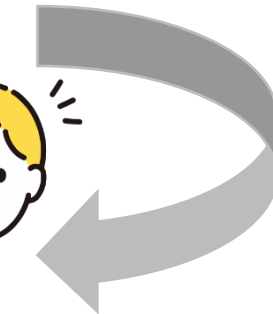
◇事業者のメリット

事業者様同士の対話により

- ・異業種の企業同士によるアイデアや要件の共有を図ることができる



②



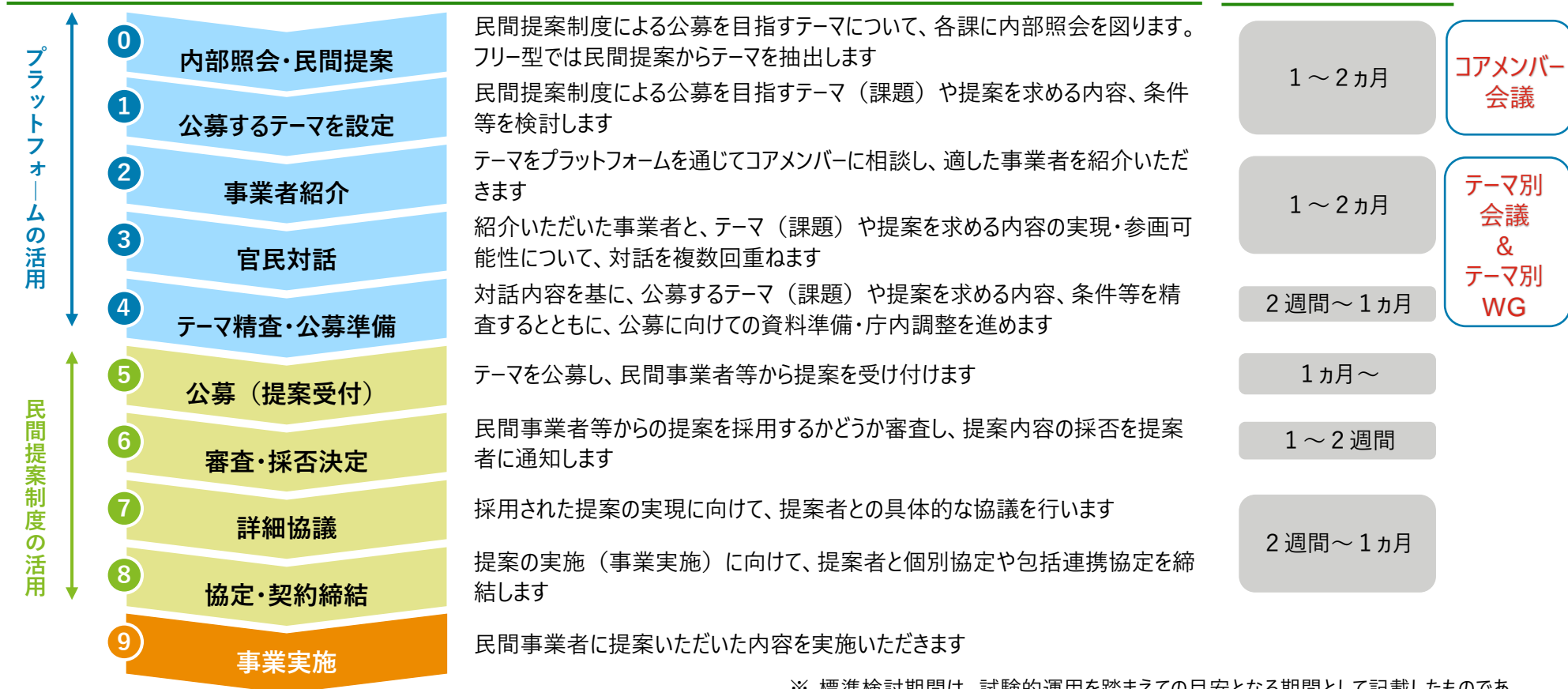
課題の磨き上げにより公共領域における新たな市場の価値の創出が図られる

プラットフォームの機能を活用し、コアメンバーに民間事業者を紹介いただきながら、官民対話を行いつつ、テーマを精査し、民間提案制度を活用して公募、審査を進めていきます

❗ 前提条件

- プラットフォームの使い方：プラットフォームを前提とした一社随契は不可、新規の予算計上を伴うものは不可（プラットフォームでの活動を予算の根拠にしない）
- 民間提案募集制度：必ず最低1社から手が挙がるテーマに整理してから公募をかける

プラットフォームを活用した民間提案制度公募の流れ



※ 標準検討期間は、試験的運用を踏まえての目安となる期間として記載したものであり、事業内容や官民対話、庁内調整の状況により、変動する可能性があります

岡崎市SDGs 公民連携プラットフォーム

市

(実線囲み) = 必ず参加

市

(点線囲み) = 場合により参加

市
企画課
+
課題の
所管課

課題
(テーマ型
の案件)
の発案・
持ち込み

◆コアメンバー会議
公民連携事業の創出に向けた提案、情報発信及び意見交換を行う。

市 コアメンバー オブザーバ アドバイザー

コアメンバー

テーマ型案件
の提案・公民
連携事業の情
報提供

フリー型案件
の持ち込み

事業者

テーマ型案件の
提案、フリー型
案件の発案

市からの課題や、
コアメンバーからの
テーマ型・フリー型提案を共有、
成立可能性案件はテーマ別会議へ

◆コアメンバー・(事業者)との個別対話
提案について個々に意見交換を随時行う。

市 コアメンバー 事業者

◆テーマ別会議
コアメンバー会議で提案されたテーマの意見交換を行う。

市 コアメンバー 事業者 オブザーバ アドバイザー

テーマの小分類ごとの会議体 (オープン/クローズ)、共同事業を行う事業者のみの会議体など、
案件の特性や状況により様々なワーキンググループにより意見交換を実施

◆テーマ別会議のWG
案件の特性や状況により、様々な形
でのワーキンググループを展開

市 コアメンバー 事業者
オブザーバ アドバイザー

◆その他の事業
普及啓発・人材育成のための勉強会
や意見交換のための交流会を実施

市 コアメンバー 事業者
オブザーバ アドバイザー

公民のニーズ等が一致していること、市場性があることなどの要件を満たしたものについて…

民間提案制度による募集・事業実施

令和4年度の取組実績の概要

	第1回（令和4年9月16日）	第2回（令和4年12月16日）
テーマ	噴水や広場を活かし、公園での子育て環境市内No.1を目指す提案	岡崎市の無接道敷地の空き家対策についての提案
対象物	都市公園（新たな付加価値）	空き家
実施概要	奈良井公園を対象に、上記のテーマに基づき、 <u>冬季のコンテンツ創出や夏季の熱中症対策、駐車場不足、防犯、安全等の課題に対する提案を募集</u>	無接道地等の要因により、 <u>活用困難な空き家に対応すべく、所有者の空き家の手放しや処分、土地・建物活用等の課題に対する提案を募集</u>
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 民間事業者の提案意向として、 <ol style="list-style-type: none"> ①ベンチの設置・寄付 ②自販機設置 ③野菜等の物販等 を把握 ● 提案意向のある事業者との個別調整を踏まえ公募時期を見極め、<u>②自販機の設置について令和5年3月に公募</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 民間事業者より、上記の課題解決に関する提案意向、市場性や課題を把握 ● 公募方法、審査方法等の庁内調整を経て、<u>令和5年2月に公募</u>

1社の提案採択

3社の提案採択

令和5年度 想定スケジュール

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
プラットフォーム (テーマ型) * 本年度メイン	● 設立総会 27日	● 20日 コアメンバー 会議		● ①事業者向け セミナー・ 意見交換会 会議 (予定)		● コアメンバー 会議 (予定)	● ②事業者向け セミナー・ 意見交換会 会議 (予定)	● コアメンバー 会議 (予定)	● ③事業者向け セミナー・ 意見交換会 会議 (予定)		
	メール等による情報提供、コアメンバー・事業者との個別対話の開催 (随時)										
民間提案制度				● ①テーマの提示 募集要項公表	● ①提案書類の 提出	● ①提案内容審査 事業者選定・公表	選定事業者との 事業実施への協議				
							● ②テーマの提示 募集要項公表	● ②提案書類の 提出	● ③提案内容審査 事業者選定・公表		
										● ③テーマの提示 募集要項公表	
プラットフォーム (フリー型)				コアメンバーからのフリー提案 (随時) 案件内容により、コアメンバー会議へ移行							

令和5年度 地域プラットフォーム形成支援 ～公民連携プラットフォームの各運用段階におけるポイント～

運用段階	ポイント
テーマ設定 事業者紹介	テーマを設定し、コアメンバーとの調整、協議を図る上では、民間事業者に提示する課題や事業参画のメリット・効果を具体的に提示することが重要
官民対話	テーマや課題に沿った市場性の把握について、その特性、熟度に応じた官民対話方法（オープン形式、ピッチ形式、クローズド形式）を検討すること、また対話のゴール（目的）を明確にして臨むことが重要
テーマの精査 ・公募準備	公募に向けての検討時の課題・留意事項として、公募前の民間事業者との事前調整・連絡や民間意向を踏まえた公募期間や時期の検討、審査方法の検討を行うことが重要

ご清聴ありがとうございました。